

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2070700246		
法人名	特定非営利活動法人生活支援センターオアシス		
事業所名	グループホームサン・オアシス		
所在地	長野県須坂市小河原1564-1		
自己評価作成日	令和 4年 10月 12日	評価結果市町村受理日	令和 4年 11月 30日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action=kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;ijgwosyoCd=2070700246-008&amp;PrefCd=20&amp;VersionCd=022">http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action=kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;ijgwosyoCd=2070700246-008&amp;PrefCd=20&amp;VersionCd=022</a>
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限公司		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和 4年 10月 20日		

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

オアシスは景観の良い山々や、りんごとぶどう畑に囲まれて、四季折々の景色を楽しむことができます。広々とした庭を色どるたくさんバラや花々は、訪れる人の心を和ませてくれます。開所から20年経ちますが、市の相談員、往診に訪れる主治医等、多くの方から施設内がきれいだとお褒めの言葉をいただくことがあります。新型コロナウイルス感染症対策のため、恒例のサン祭り、ボランティアやご近所との交流は中止していますが、マニュアルに添って感染症対策を行い、レクリエーション活動に力を入れ、利用者と職員が共に喜び合える環境を過ごしています。また今年も畑を作り、野菜を育てる活動をしています。新しい職員が役割を持ち活躍できる環境があり、若い職員が増え、新たな取り組みを行うことが出ています。利用者の活き活きとした表情や心温まるシーンを「にやりほっと」として記録し、おたよりに掲載しています。災害への備えも充実しており、避難者の受け入れ体制も整っています。職員は併設の小規模多機能ホームとチームワーク良く、細やかな心配りで支援に努めています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

周りを地域特産のリンゴや桃、ブドウ、梨などの果樹畑に囲まれ、たわわに実った果実を見ながらのんびりと過ごせる環境の中に併設の小規模多機能型居宅介護事業所と共に開設20年目を迎えた当ホームがある。「人権を大切に、共に喜びあえる、信頼の介護」という理念の下、職員は一人ひとりの利用者の入居前の生活の状況も含め想いを理解し、楽しい日々を過ごしていただくよう優しく寄り添っている。一昨年の春以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、制約を受けながらの活動が続いているが、職員は「抗原検査キット」を用いた検査等、感染対策を万全に取った上で出来る活動は引き続き行うようにしている。家族の面会は玄関先で2メートルの間隔をあけ15分以内とし、タブレットを用いたLINEやメールでのやり取りもしている。また、家族の希望で近隣の利用者については週1~2回、午後、自宅に戻りお茶を飲みながらのひと時を楽しむなど、家族との関わりについても積極的に支援している。更に、今年度は年間計画に沿い平日の人出の少ない時を選び、春には小布施の「ハイウェイオアシス」までドライブを兼ねお花見に出かけ桜の花を楽しみ、高山村にある温泉の「足湯」に出掛け楽しいひと時を過ごしている。合わせて10月中には紅葉見物にも出かける予定を立てている。また、運営推進会議の重要性に鑑み、当ホームは令和3年度より新型コロナ前のように対面での会議に戻し、顔を見ながら様々なご意見を頂き運営に活かしている。ホールの壁には利用者と職員が時間を掛けて制作した春夏秋冬の見事な壁画が飾られている。そのような中、訪問調査時に笑顔で話を楽しんでいた利用者から「此処はいい所だよ」と話掛けていただき「ほのぼの」とした気持ちになった。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		